

根管治療・修復治療で無菌処置を徹底することは大原則
簡単・確実なラバーダム防湿法をわかりやすく伝授

写真でわかる

ラバーダム防湿法

井澤常泰・三橋 純／著

- 根管治療・修復治療では無菌処置を徹底することが大原則、アメリカでは根管治療専門医の90%以上がラバーダム防湿法を実施しています。
- クリーンな術野を確保するために必須のラバーダム防湿法は、同時に感染予防、各種の誤飲事故防止にもきわめて有効であり、治療の成功率、術後疼痛にも大きく影響します。また、その適切で丁寧な処置は患者さんの評価と信頼を高めます。
- 本書では、最新器材に基づくラバーダム防湿の具体的ノウハウを、根管処置、修復処置などの処置別、および部位別に、連続カラー写真でわかりやすく示しました。
- 実際の臨床の場では、歯科衛生士が歯科医師の指導のもとにラバーダムの処置を行うことを考慮して、歯科衛生士が参考にできるように、歯科衛生士学校のテキストとしても使用できるように編集・構成しています。

著者序文より抜粋 なぜ今ラバーダム防湿なのか—

良好な予後を期待するためには原則に忠実な治療を行うことが大切であり、基本処置を省いて新しい方法に頼ることは本末転倒です。根管治療では無菌処置を徹底することが大原則、クリーンな術野を確保するためにはラバーダム防湿法が必須です。このことはラバーダム防湿法が考案されて以来、何ら変わることはなく、いまだにこれを超える防湿方法はありません。

歯科医の良心だけがラバーダム防湿法を存続させるという危機的状態が予想されるなか、本書は2007年7月から6回にわたり歯界展望に連載した“見直そう！ラバーダム防湿法”を基に、簡単で確実なラバーダム防湿法を解説したものです。この本を手にしたひとりでも多くの歯科医師、歯科衛生士がラバーダムの意義を理解し、ラバーダム防湿をルーティンに行えるようになることを願ってやみません。

B5判／48頁

オールカラー

定価2,310円

(本体2,200円+税5%)

ISBN978-4-263-46100-6

C O N T E N T S

はじめに なぜラバーダム防湿なのか

第1章 ラバーダム防湿法の意義

- ・ラバーダムは使用されているか？
- ・ラバーダム防湿は治療の結果に影響するか？
- ・ラバーダム防湿を行うことは難しいか？
- ・ラバーダム装着は患者に嫌がられるか？

第2章 ラバーダム防湿法に必要な器材

- ・ラバーダムシート
材質、色／大きさ、厚さ／香り
- ・ラバーダムパンチ
- ・クランプ
- ・クランプフォーセップス
- ・ラバーダムフレーム

第3章 根管治療におけるラバーダム防湿法

- ・ラバーダムのかけ方の基本
- ・ラバーダム防湿時のトラブル解決
リーケージが起こる／クランプが外れやすい／クランプをかけると患者が痛がる／残存歯質が少なくクランプがかからない
- ・クランプがかからない症例への対応
歯周外科処置あるいは矯正による挺出／隣在歯を利用する／隔壁を作る／レジン隔壁の作り方

第4章 修復治療におけるラバーダム防湿法

- ・修復治療におけるラバーダムの意義
防湿／歯肉粘膜の圧排／視認性の向上／患者の快適性／医院の好評価
- ・下顎臼歯部修復のラバーダムの実際
使用器具／ラバーシートへのパンチ／ラバーダムの装着／ラバーダムの撤去／齶蝕による隣接面歯冠崩壊が大きくラバーダムシートが切れてしまう場合／ブリッジ等により歯間部を通すことができない場合／下顎最後方遠心面に発生した齶蝕の場合
- ・前歯部修復のラバーダムの実際

主な使用器材

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>